

第55回日本サインデザイン賞 募集要項

2021年4月1日作成

2021年4月29日改訂

公益社団法人 日本サインデザイン協会

日本サインデザイン賞(通称SDA賞)は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発を図ることを目的として、1966年以来続けられてきた日本で唯一のサインデザインに関する顕彰事業です。

今日のサインは、都市空間や企業活動と生活者をつなぐインターフェイスとして、即ち環境を活性化しコミュニケーションを成立させるためになくてはならない情報として位置づけられ、その作例は多様な広がりを見せています。クオリティの高いサインデザイン作品を下記の要領で募集します。皆さまの積極的なご応募をお願いいたします。

■主催

- ・公益社団法人 日本サインデザイン協会(以下、SDAと表記する)

■後援(予定)

- ・経済産業省
- ・公益財団法人日本デザイン振興会
- ・日本商工会議所
- ・日本経済新聞社
- ・一般社団法人日本屋外広告業団体連合会
- ・一般社団法人日本空間デザイン協会
- ・一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
- ・一般社団法人日本商環境デザイン協会
- ・公益社団法人日本サイン協会
- ・公益社団法人商業施設技術団体連合会
- ・一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会
- ・公益社団法人全日本広告連盟
- ・公益社団法人日本アドバイザーズ協会
- ・公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会
- ・特定非営利活動法人日本タイポグラフィー協会(順不同)

■対象作品

- ・国内外問わず、2020年(令和2年)5月1日から2021年(令和3年)4月30日までの1年間に完成したサイン。

■応募締切

- ~~→2021年(令和3年)5月31日(月)24:00~~
- ・2021年(令和3年)6月30日(水)24:00

■ 審査

- ・ 審査は、全応募作品の中から入賞候補50作品と入選100作品を決定する一次審査と、入賞候補作品の中から日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞(予定)(以下、大賞と表記する)(1作品)、日本サインデザイン金賞(4作品)、日本サインデザイン銀賞(15作品)、日本サインデザイン銅賞(30作品)を決定する二次審査によって行う。
- ・ 一次審査は、WEB審査システムを使用して行う。
- ・ 二次審査は、審査会によって行う。
- ・ 二次審査では上記各賞のほか、日本サインデザイン招待審査員賞(各招待審査員それぞれ1作品)を各招待審査員の推薦により決定する。
- ・ 審査は、一次審査、二次審査を通して、応募者名・作品制作関係者名を秘匿した状態で行う。
- ・ 審査は、WEB応募システムによって提出されたデザイン意図、画像、映像(任意)を審査資料として審査する。
- ・ 評価基準
 - ・ 社会性：計画の社会的意義・波及効果、環境対策や周辺景観との調和、安全性、管理を含めた持続性などについて評価する。
 - ・ 情報性：発信者の意図を機能性と感性の両面から、適切に伝えるコミュニケーションデザインとなっているかを評価する。
 - ・ 先進性：着眼点、デザイン構築に対する考え方、計画から製作・施工に至るプロセス等にこれまでにない取り組みが成されているかを評価する。
 - ・ 審美性：造形、素材の選定や全体のバランス、見せ方などの美しさについて評価する。

■ 審査日程

- ・ 一次審査：~~2021年6月5日(土)～13日(日)~~ 2021年(令和3年)7月7日(水)～7月18日(日)
- ・ 二次審査：~~2021年6月26日(土)~~ 2021年7月31日(土)(予定)
東京ミッドタウン・デザインハブ インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター(東京都港区)
- ・ 二次審査会は「公開」で行う。見学を希望する場合は、事前にSDA事務局に申込みをすること。

■ 審査員

審査員は下記により構成される。

- ・ 一次審査員
 - ・ 審査員長：SDA会員の中から選出
武山 良三：富山大学理事 副学長／signs誌編集長
 - ・ SDA審査員：SDA会員の中から選任された審査員
横田 保生：元GK上海総経理／グラフィックデザイナー
島津 勝弘：島津環境グラフィックス／環境グラフィックデザイナー
渡辺 太郎：エモーショナルスペースデザイン代表／アートディレクター
中牟田 麻弥：メッド代表／デザイナー
 - ・ 地区審査員：SDA各地区(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)理事(代表幹事)ならびに各地区代表幹事が選出した日本サインデザイン賞選考審査員各1名
- ・ 二次審査員
 - ・ 審査員長：
武山 良三：富山大学理事 副学長／signs誌編集長
 - ・ 招待審査員(予定)：
経済産業省 商務・サービスグループ クールジャパン政策課長(併)デザイン政策室長
ポー・リンネマン：コントラプクト／エグゼクティブ デザインディレクター
小林 章：モノタイプ社／タイプディレクター
諏訪 光洋：ロフトワーク代表
橋本夕紀夫：橋本夕紀夫デザインスタジオ／インテリアデザイナー
永山 祐子：永山祐子建築設計／建築家
高橋俊宏：Discover Japan 統括編集長
 - ・ SDA審査員：一次審査に同じ

■発表

- ・ ~~2021年9月上旬~~ 2021年10月上旬(予定)

■贈賞

- ・ 審査により、下記の賞が贈賞される。
 - 日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞(予定)：1作品(賞状・トロフィー)
 - 日本サインデザイン金賞：4作品(賞状・トロフィー)
 - 日本サインデザイン銀賞：15作品(賞状・トロフィー)
 - 日本サインデザイン銅賞：30作品(賞状)
 - 日本サインデザイン賞入選：100作品(賞状)
 - 日本サインデザイン招待審査員賞：7作品(賞状・トロフィー)
 - 日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会会長賞：2作品以内(賞状)
- ・ 贈賞式：~~2021年11月~~ 2021年12月4日(土) (予定) 会場未定(東京都内または、近郊予定)

■応募方法

- ・ 応募対象作品を撮影した写真画像のデジタルデータ(以下、画像データと表記する)とデザイン意図(コンセプト:テキストデータ)を含む応募資料一式を、SDAの用意するWEBサイト(<https://sda-award.org>) (以下、日本サインデザイン賞WEBサイトと表記する)へ登録する。
- 映像のデジタルデータ(以下、映像データと表記する)を、登録することもできる。映像のみの登録はできない。

■応募料

- ・ 応募料は、1作品につき¥5,000とする。応募料にはデザイン意図(コンセプト:テキストデータ)と1画像の審査料を含む。
- ・ 2画像以上を提出する場合、1画像につき¥1,500の追加審査料を加算する。
- ・ 映像データ(1映像につき60秒以内)を提出する場合、1映像につき¥8,000の追加審査料を加算する。

■応募の手順

- ・ 応募者登録
 - ・ 応募にあたっては、日本サインデザイン賞WEBサイトの応募者登録ページにおいて必要な情報(*1)を記載し、応募者登録を行う。応募者登録は無料で、原則として翌年以降の日本サインデザイン賞の応募においても使用できるが、連絡先等に変更がある場合は、修正を行うこと(間違った情報のままの場合、SDAからの連絡が受け取れないことがあるので注意すること)。
 - ・ 応募者登録を行うと「応募者ページ」が作成される。作品の応募、応募内容の変更、応募の取消、応募料の決済などは、全て「応募者ページ」より行う。
- ・ 応募票の記入
 - ・ 作品を応募する場合「応募票」に必要事項(*2)と「デザイン意図」(原則として日本語テキスト200文字以内)を記入し送信した後、画像データ、映像データを登録する。
- ・ 画像データの登録
 - ・ 画像データは、原則として作品を撮影したカラー写真(デジタルカメラにて撮影したデータまたは、カラーネガ・ポジフィルムを用いて撮影した銀塩写真をスキャンしたデータ)とする。ただし、作品がデジタル画像によるものの表現は、これに該当しない。
 - ・ 画像データ数は自由とする。
 - ・ 画像データのうち1画像はコンセプト説明シートとして、複数の写真・チャート・図版・文章による構成を可とする。
 - ・ コンセプト説明シート以外の画像データは、それぞれ1枚のみの写真によって構成すること(作品説明のためのチャート・図版・キャプション(簡単な説明文)を挿入することは可とする)。
 - ・ 画像データの画素数制限は設けないが、ファイルのサイズは1画像あたり1MBを限度とする。
 - ・ 画像データのファイル名は半角英数字のみとする。
 - ・ 画像データの形式はJPEG(拡張子:jpgまたはjpeg)とする。

- ・映像データの登録
 - ・映像データは、原則として作品を撮影したカラー動画とする。ただし、作品がデジタル映像によるものの表現は、これに該当しない。
 - ・映像データ数は自由とする。
 - ・映像データには、音声(サウンドトラック)を含めることができるが、音サインなど撮影と同時に録音されたもののみを審査対象とし、映像処理段階で付加された効果音・音楽等は審査対象外とする。
 - ・映像データの再生時間は1映像データあたり60秒を限度とし、ファイルのサイズは20MBを限度とする。
 - ・映像データの画素数は、横1920pixel、縦1080pixelを超えないこと。
 - ・映像データのコーデックはH264/AAC、データ形式はmp4(拡張子:mp4)とすること。
 - ・映像データのファイル名は半角英数字のみとする。
- ・作品制作関係者票の記入
 - ・画像データ、映像データの登録完了後「作品制作関係者票」(*3)を記入し送信する。
- ・応募料の決済
 - ・応募料の決済(支払い)は、クレジットカードまたは、銀行振込のみとする。クレジットカード決済の場合、日本サインデザイン賞WEBサイトの用意するPayPalまたは、Stripeの決済システムを使用すること。銀行振込の場合、決済方法選択時にe-mailにて送付される受付番号を振込時に記載する。振込手数料は応募者の負担とする。
 - ・応募料(追加審査料を含む、以下同様)の決済前であれば、応募票(作品情報)の編集、画像・映像の追加・変更・削除、作品制作関係者情報の追加・変更・削除が可能だが、応募料決済後は、提出した作品および、情報に一切変更を加える事はできない。
 - ・いかなる場合も、応募料・追加審査料の返金には応じない。

(*1) 応募者登録に必要な情報

氏名 : 漢字・カナ・英字
 SDA会員か非会員か
 所属(会社名 : 漢字・英字、所属部署・役職)
 連絡先(住所、電話番号、携帯電話番号)
 メールアドレス、任意のパスワード(ログイン情報に使用)

(*2) 応募票の必要事項

作品代表者(作品のデザイン制作に携わった代表者1名、受賞した場合の「受賞者代表」)
 名前 : 漢字・英字
 所属(会社名・法人名・屋号など、法人格を含んだ正式名称) : 漢字・英字
 作品名 : 漢字・カナ・英字
 作品所在地 : 都道府県・市町村、海外の場合は国名・都市名
 完成年月
 分類選別-1 空間設定による分類: 選択肢より選択(複数選択可)
 分類選別-2 デザイン手法による分類: 選択肢より選択(複数選択可)

(*3) 「作品制作関係者票」

作品制作に関わった個人・会社等に関して下記を記入
 職能・役割 : ディレクター、デザイナー、施工者、クライアント等から選択
 所属(会社名・法人名・屋号など、法人格を含んだ正式名称) : 漢字・英字
 担当者氏名(会社・法人の場合記載不要) : 漢字・英字

■ 応募の注意事項

- ・応募者は二重応募(同一の作品を複数の応募者が応募すること)のないよう、事前に各関係者間で調整を図ること。ただし、同一の作品であっても、異なる視点から、同一のあるいは、異なる応募者が応募することは認められる。
- ・応募された全ての資料の著作権、画像使用权、出版権、工業所有権については応募者が責任を持って処遇・管理すること。なお、これらの許諾を得られない場合、入賞、入選作品であっても作品集や年鑑に掲載することができないので了承のこと。「作品制作関係者」として、カメラマンなど著作者名の表示がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなす。また、写真使用料については、応募者と写真家との間で解決した上で、応募すること。

- ・応募された全ての資料の著作権はその著作者に留保されるが、
 - ・「年鑑日本の空間デザイン2022」(紙媒体および、電子版)、SDAが主催、関与発行する日本サインデザイン賞作品集その他の刊行物、広報資料および、WEBへ掲載
 - ・展示会・セミナーでの発表にて発表
 - ・DVDなどのデジタルデータ記録媒体へ収録
 する権利をSDA、空間デザイン機構年鑑刊行委員会、株式会社六耀社に付与していただく。
- ・SDAが主催、関与発行する刊行物等においては画質の補正、画像のトリミング等を行う場合があることを了承すること。
- ・また、応募者登録情報、応募票、作品制作関係者票に記載された会社名や個人名などは正式なものと判断し、印刷物や出版物、贈賞時の原稿として使用するため、正確に記入すること。
- ・応募する作品画像データ、映像データは、常識的な範囲での補正(露光や、色温度の微調整、トリミング等)と、応募規定ファイルサイズに合わせるための画素数や圧縮率の変更を除き、一切の加工を行ってはならない。
- ・盗作などの事実が確認された場合または、デジタル加工などを施した、実際の作品と異なる画像・映像による「虚偽」の応募が判明した場合は、審査終了後であっても失格処分とし、事実を応募者名とともに公表する。
- ・審査は、応募者名、作品制作関係者名を秘匿した状態で行う。応募する審査資料(デザイン意図、画像・映像)の中には、応募作品に含まれる場合を除き、応募者名・作品制作関係者名は、これらを想起させるロゴマーク等を含み、一切表示してはならない。違反した作品は、失格処分とする場合がある。
- ・失格処分となった作品の、応募料・追加審査料は、返却しない。
- ・回線の混雑やサーバーの過負荷などにより応募締切時刻を超過した場合、応募受理されない場合があるが、この場合の異議は一切受け付けない。

■年鑑掲載:「年鑑日本の空間デザイン2022 ディスプレイ・サイン・商環境」

- ・入選以上の作品は「年鑑日本の空間デザイン2022 ディスプレイ・サイン・商環境」(国内・海外版)に収録されます。
- ・年鑑掲載に必要な高解像度の写真原稿等の提出をお願いいたします。
- ・年鑑の編集は、SDA、一般社団法人日本空間デザイン協会(DSA)、一般社団法人日本商環境デザイン協会(JCD)、株式会社六耀社、並びに空間デザイン機構年鑑刊行委員会があたり、発行は株式会社六耀社が行います。
- ・発行予定日:2021年12月

■SDA地区デザイン賞の選定について

- ・日本サインデザイン賞応募作品を対象に、SDA地区デザイン賞を選定する。この賞は、日本サインデザイン賞の各賞とは別に、各地区のサインデザインの啓蒙を目的として贈賞されるもので、審査は日本サインデザイン賞とは別に、各地区のSDA会員によって行われる。
- ・地区の区分は下記の通りとし、作品の地区分けは原則として応募票記載の作品所在地により行う。
 - 北海道地区 :北海道
 - 東北地区 :青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 - 関東地区 :茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県
 - 中部地区 :富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 - 関西地区 :滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 - 中国地区 :鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 - 四国地区 :徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 - 九州地区 :福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
 - 沖縄地区 :沖縄県
- ・審査は、二次審査終了後に行われ、下記の賞が贈賞される。
 - SDA〇〇地区デザイン賞(〇〇は上記の各地区名) :各地区適宜選定(賞状)
 - 贈賞は、応募者への賞状の送付をもって行う。

■個人情報保護に対する取り組み

- ・公益社団法人日本サインデザイン協会は個人情報取扱事業者としての義務を守り、運営に係る全ての個人情報を、以下のとおり取り扱います。
- ・個人情報の提供を受ける場合には、本人にその個人情報の利用目的をお知らせし、同意をいただきます。また、提供を受けた個人情報の利用に際しては、本人から同意をいただいた利用目的の範囲内で適切に行います。
- ・本人から同意をいただいた場合および法令に基づき司法機関、行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合を除き、ご提供いただいた個人情報を第三者に預託、提供することはいたしません。
- ・内容が事実でないことを理由として本人の個人情報の削除、変更、修正の連絡があった場合は、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、合理的な期間内に情報を修正し、維持・改善・管理します。
- ・個人情報の取り扱いに十分注意を払い、役員・運営委員、委員会や地区事業などの会務を担当する正会員および事務職員に徹底します。

■個人情報の利用目的

- ・日本サインデザイン賞応募登録者の方の個人情報について
- ・登録内容の確認。
- ・応募された作品および、応募料決済、審査結果に関しての連絡。
- ・贈賞式の案内。
- ・SDA事業に関するEメールの送信。
- ・その他日本サインデザイン賞運営に関する必要な範囲での利用。